

授業科目(ナンバリング)	相談援助の理論と方法 I A (DA206)			担当教員	妻 孝承		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択 (介護必修)
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>社会福祉士（ソーシャルワーカー）と介護福祉士（ケアワーカー）に求められる専門力の向上を中心に取り組み、相談援助（ソーシャルワーク）と介護（ケアワーク）において求められる各種理論及び方法に関する基礎的な知識の習得を目指す。</p> <p>具体的には、ソーシャルワークの概要と基礎概念、人と環境との相互作用、援助関係、面接技術について学ぶことをねらいとする。その中で、対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得する学習を進める。</p>							①④⑤ ⑦⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法		評価比率
専門力	ソーシャルワークに関する理論及び方法について説明できる。 ソーシャルワークに関する基礎的な用語・概念を理解できる。				定期試験 小テスト		20% 30%
情報収集、分析力	ソーシャルワークに関する基礎的な用語・概念を整理できる。				単語帳		20%
コミュニケーション力	ソーシャルワークについて自分の言葉で表現できる。				定期試験		20%
協働・課題解決力	ソーシャルワークに関する事例に取り組むことができる。				定期試験		10%
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験（50%）では、ソーシャルワークの概要と基礎概念、人と環境との相互作用、援助関係と関係形成、面接技術とコミュニケーションに関する知識の習得度を評価する（持ち込み不可；再試験を受ける場合に必ず事前に教員に相談すること）。小テスト（30%）では、学んだ用語・概念の理解度を問う。単語帳（20%）では、専門用語について自分の言葉で適切にまとめられるかを評価する。必要に応じて、ポートフォリオ上と授業内でフィードバックを行う。</p> <p>なお、不適切な授業態度（教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話等の使用、居眠り等）は、発覚した場合に減点の対象となる。</p>							
授業の概要							
<p>基本的には講義形式で授業を進めるが、理解を深めるためのグループワークとレスポんを使った社会福祉士国家試験の過去問題も頻繁に取り入れる。相談援助の概要と基礎概念から出発し、人と環境の相互作用、援助関係と関係形成、面接技術とコミュニケーションについて学ぶ。「ソーシャルワークとは何か」という根本的な問いを常に意識し、教員の国際ソーシャルワーカー連盟地域会長補佐、外国人支援団体の相談員と重度訪問ヘルパーとしての実務経験を基に、ソーシャルワーク特有の人間観と援助観を身につける。</p> <p>本科目の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：社会福祉士養成講座編集委員会編（2015）『新・社会福祉士養成講座7 相談援助の理論と方法 I 第3版』中央法規出版</p> <p>参考書：北島英治（2008）『ソーシャルワーク論』ミネルヴァ書房。</p> <p>指定図書：山下英三郎（2006）『相談援助』学苑社。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>社会福祉士国家試験受験資格の指定科目であるため、国家試験を意識すること。講義を軸にしながら、予習・復習の一環として教科書を事前・事後に確認し、専門書を読む習慣を身につけるなど、抽象度及び専門性の高い内容に対する理解を深められるように努力すること。</p> <p>なお、本科目専用のノートはもちろん、聞き慣れない専門用語について自分にとって分かりやすい言葉で記入する単語帳を導入することを強く勧め、定期的に確認し、評価の対象とする。</p> <p>また、出席管理に影響するため、教員が示す座席指定表に従って座ること。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	授業の進め方、評価等の確認を行い、予備知識と期待を整理する。	予習：相談援助の基盤と専門職A・Bの復習 復習：シラバスの熟読
2	相談援助の概要①	国内外の各種定義を基に、ソーシャルワークの捉え方について学ぶ。	予習：教科書1-19頁 復習：小テストの準備
3	相談援助の概要②	国内外の専門的な組織構造を基に、ソーシャルワーカーが活躍する場について学ぶ。(小テスト①)	予習：教科書20-26頁 復習：小テストの準備
4	相談援助の基礎概念③	ゲストスピーカー：社会福祉士の活用場② (ユニークな仕事をしているソーシャルワーカー)	予習：教科書27-37頁 復習：小テストの準備
5	相談援助の基礎概念①	ソーシャルワークの基本的な構造と構成要素について学ぶ。また、ニーズの捉え方とソーシャルワークの機能、ソーシャルワーカーの役割について学ぶ。(小テスト②、③)	予習：教科書38-51頁 復習：小テストの準備
6	人と環境の交互作用①	ソーシャルワークにおける人と環境の捉え方及びそれらの双方向関係について学ぶ。(小テスト④)	予習：教科書53-58頁 復習：小テストの準備
7	人と環境の交互作用②	システム論の考え方とその歴史的な発展について学ぶ。(小テスト⑤)	予習：教科書58-62頁 復習：単語帳の準備
8	人と環境の交互作用③	サイバネティクスとシステム論のソーシャルワークへの応用について学ぶ。(単語帳提出①)	予習：教科書62-67頁 復習：小テストの準備
9	相談援助における援助関係①	援助関係の基礎構造と歴史的な発展について学ぶ。(小テスト⑥)	予習：教科書69-76頁 復習：小テストの準備
10	相談援助における援助関係②	援助関係構築の基本原則と援助者の役割について学ぶ。(小テスト⑦)	予習：教科書77-84頁 復習：小テストの準備
11	人間関係の形成	人間関係の形成に必要な心理学的支援、援助関係の性質と援助者の自己覚知について学ぶ。(小テスト⑧)	予習：教科書85-88頁 復習：小テストの準備
12	相談援助のための面接技術①	ソーシャルワーク面接の目的、構造、特性について学ぶ。(小テスト⑨)	予習：教科書249-253頁 復習：小テストの準備
13	相談援助のための面接技術②	ソーシャルワーク面接の展開過程について学ぶ。(小テスト⑩)	予習：教科書254-260頁 復習：単語帳の準備
14	コミュニケーションの基礎	コミュニケーションの意義や機能について学ぶ。(単語帳提出②)	予習：教科書261-265頁 復習：疑問点の整理
15	まとめ	受講生自身による前期の振り返りとまとめを行う。	予習：前期の振り返り 復習：前期の復習
16	定期試験		